Mira e:S

Press Information

2017.5.9

DAIHATSU

新型ミラ イースでDNGAの原点を確立

お客様の声を出発点に、ダイハツ独自のクルマづくりを実現

先般ダイハツは創立110周年という節目を向かえ、新たなグループスローガン「Light you up」を指針として、
「モノづくり」「コトづくり」を主軸に、ダイハツブランドの進化を目指す、中長期経営シナリオ「D-Challenge2025」を策定いたしました。

「モノづくり」では、ダイハツらしいクルマづくりのコンセプトである、DNGAの実現を目指します。
「コトづくり」では、ダイハツならではのやり方で、お客様や地域の方々との接点を拡大いたします。

この二つをスパイラルアップさせることで、ダイハツブランドを進化させて参ります。

日本に根ざした軽自動車に必要な要素を織り込み、DNGAの原点を確立

ダイハツは、新たなプラットフォームを搭載したDNGA第一弾となる軽自動車の投入を皮切りに、小型車、グローバルへの展開を目指しております。
新型ミラ イースはその第一歩として、日本に根ざした軽自動車には何が求められるかをとことん突き詰め、**DNGAの原点を確立**する、大変重要な位置づけのクルマです。

DNGAの原点とは、**軽の本質である「低燃費・低価格」に加え、お客様ニーズをもとに「安全・安心」を追求し、「見て・触って・乗って感じるクルマのあるべき姿」にこだわりながら、お客様の日常に寄り添う、「いつでも、誰でも気軽に乗れる軽」を基点とした、スモールカーづくりの考え方**です。

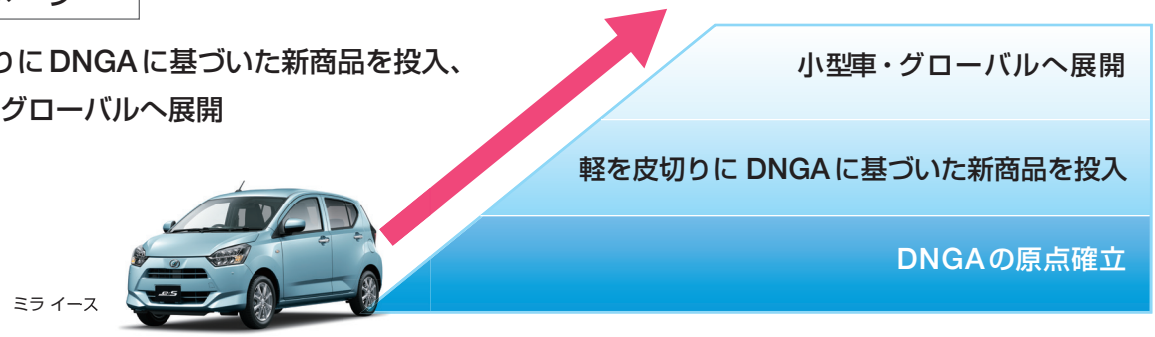
DNGA（ダイハツ・ニュー・グローバル・アーキテクチャー）

お客様の声を出発点に、企画、開発、調達、生産準備、生産と
クルマを開発する全ての工程において、
ダイハツ独自のクルマづくりを行うための事業構造および、
それを実現するための戦略

**今後は、新型ミラ イースで確立したDNGAの原点に基づき、
DNGA第一弾となる新プラットフォームを搭載した軽自動車を投入、
さらに小型車やグローバルへの展開を目指してまいります。**

DNGA展開イメージ

**軽自動車を皮切りにDNGAに基づいた新商品を投入、
その後、小型車、グローバルへ展開**



「超深化 エコ＆スマート」

誰もが気軽に乗ることができ、日常生活のパートナーとして ご使用いただけるクルマをお届けしたい

南出 洋志 製品企画部 エグゼクティブ･チーフ･エンジニア

実験部に入社後、運動性能、シャシーの先行開発、原価企画、プロボックス･サクシードと幅広い部門で開発を担当。
2014年12月より新型ミラ イースのエグゼクティブ･チーフ･エンジニアに就任。

お客様の日常生活に寄り添い支える ミラ イースならではのモデルチェンジ

ミラ イースは、社会の環境志向の高まりを受け、2011 年に「第 3 のエコカー」として市場へ投入した商品です。
「エコ（Ecology/Economy）＆スマート（賢い選択）」のクルマとして軽自動車に新たなウェーブを巻き起こし、
ダイハツにとって欠かすことのできない基幹車種へと成長させることができました。

しかし、6 年の歳月が経ち、競合各社の切磋琢磨により、低燃費車が街にあふれ、お客様のニーズも、「節約・堅実一辺倒」から、
「こだわり・安心・品質」といった、自分ならではの付加価値を求めるように変化してきており、「低燃費」「低価格」といった
要素だけではクルマは売れない時代となってきました。

一方で、自動車の購入価格は近年上昇傾向にあり、軽自動車についても高価格帯の商品が多く投入され、
価格のレンジが広がっております。また、消費増税や軽自動車増税、地方における公共交通機関の縮小など、
一人一台の「日常生活のパートナー」が必要なお客様にとっては、経済的な負担が増加してしまう状況へ変化しています。

そこで、数あるダイハツのラインナップの中でも、最もベーシックで、日常生活を支える中心的役割を担うミラ イースの
フルモデルチェンジにあたり、企画・デザイン・設計・営業のメンバーが一丸となり、全国を巡って、
多くのお客様から直接、お話やご意見をうかがいました。

「真のお客様ニーズや、本当に提供すべき価値とは何か？」
「毎日安心してお使いいただくクルマをどう作るか？」

これらを探り、新型ミラ イースの提供すべき価値、果たすべき役割を定めました。

「低燃費」「低価格」に加え、「安全・安心」にご使用いただける「＋αの魅力」を追求

それは、軽自動車の本質、また本来の魅力である「低燃費」「低価格」はそのままに、お客様が安全に安心して乗っていただくために
本当に必要な性能・装備を、「＋αの魅力」として加え、お手ごろな価格で提供することです。

コンセプトは「超深化 エコ＆スマート」。初代ミラ イースの「エコ＆スマート」を継承しながら、安全･安心な基本性能や装備を付加し、
まさに「深化」させた一台となっております。

誰もが安心して気軽に乗ることができ、日常生活のパートナーとしてご使用いただけるクルマをお届けしたい。お求めやすくて小さな
クルマづくりにこだわり、暮らしの真ん中でクルマを考え続けたダイハツだからこそできた、一台だと考えております。
今の時代にふさわしい、「賢い選択」として進化した新型ミラ イースは、必ずや多くのお客様に愛されることと確信しております。

新型ミラ イースの特長

- 軽量化等による 35.2km/ℓ[※1] の低燃費（全車エコカー減税免税レベル）
- 入り口価格 84.2 万円[※2] からの低価格
- 安全・安心の基本性能と装備（スマートアシストⅢ等）
- 力強さと先進性を表現したデザイン
- 日常にジャストフィットする快適装備

※1:L“SAⅢ”/ L /B“SAⅢ”/ B・2WD 車。JC08 モード走行燃費 (国土交通省審査値)　※2：B・2WD 車。メーカー希望小売価格 (消費税込み)

世の中や市場の変化に伴い、低燃費・低価格は“当たり前”のものに。
お客様の「安全・安心」志向が伸長する中、新型ミラ イースの役割や価値をゼロベースで再考

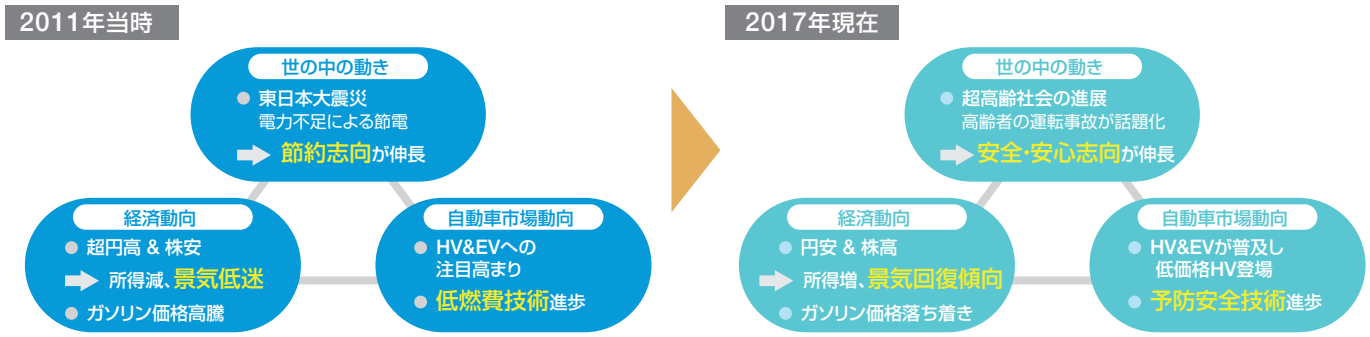
初代ミラ イースを発売した 2011 年当時を振り返りますと、震災や景気低迷の中、節約志向が伸長し、自動車市場においても低燃費技術が進化、ハイブリッドや電気自動車への注目が高まりました。
そのような中発売した初代ミラ イースは、当時ガソリン車 No.1 の**低燃費と低価格で、ハイブリッド、電気自動車に次ぐ、「第 3 のエコカー」として新市場を開拓**し、エコな時代にジャストミートした、日常生活を支える身近な存在として、軽自動車のエコカー市場を切り開きました。

初代ミラ イース（2011 年 9 月発売）

30.0km/ℓ (JC08モード)
79.5万円～(税込)

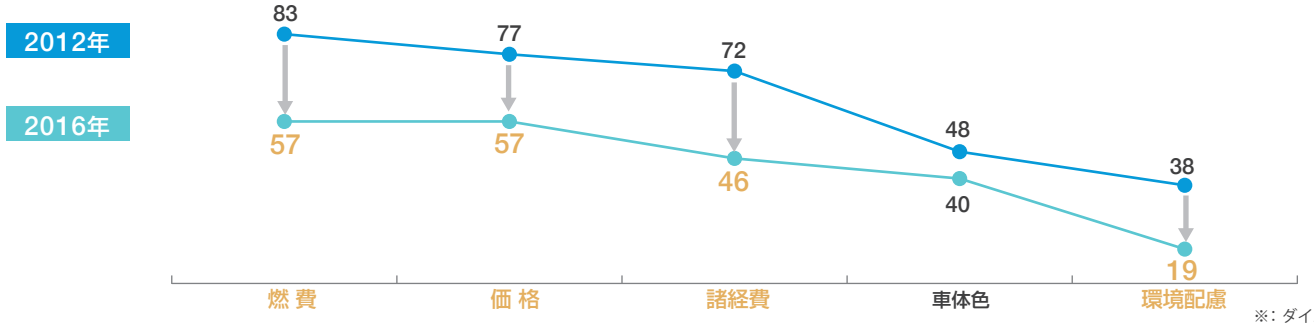
その後、現在までの足下では、景気は回復傾向、自動車市場ではハイブリッドや電気自動車の普及が進み、低価格ハイブリッドも登場しました。一方で高齢者の事故のニュースをよく耳にする中、**安全・安心志向が伸長**し、交通事故防止対策が喫緊の課題となり、予防安全技術が進歩しました。

2011年から現在までの環境変化



また、初代ミラ イースをご購入いただいたお客様の購入重視点の変化を見ると、**燃費や価格などの経済性はもはや当たり前**のものとなり、これからの**ミラ イースの役割や価値がどうあるべきか、ゼロベースで考え直す必要**があることが分かりました。

ミラ イース購入者の購入重視点（「とても重視」TOP5）



※：ダイハツ調べ

お客様の声を全社横断メンバーでヒアリング
低燃費・低価格だけでなく、「＋αの魅力」こそが新型ミラ イースの価値

一方ダイハツはこれまで、お客様に最も近い会社を目指し、ユーザーオリエンテッドの姿勢で、お客様に寄り添い、真摯に耳を傾けてきました。
新型ミラ イースでもお客様のご要望にお応えするため、様々な現地現物調査を実施。
全社横断のメンバーで、自らお客様の声を聞き、現場を体感する**「商品要件探索チーム活動」**から分かったことは、お客様は経済性を重視しながらも、消費の質が高度化し、メリハリをつけた消費行動に変化する中、**低燃費・低価格と同様に、安心感などその他の魅力も必要だ**ということです。
つまり、低燃費や低価格は磨きながらも、安全に安心してお乗りいただくための、**「＋αの魅力」を提供することが、新型ミラ イースの価値**であるということです。
新型ミラ イースは、軽の本質を追求するとともに、お客様のニーズにお応えしながら、第 3 のエコカーを深化 / 進化させたモデルを目指しました。

商品要件探索チーム活動で伺ったお客様の声

安全を重視して
スマートアシストが付いている
ミラ イースを購入した

（未婚女性）

低燃費や価格は魅力的だが
今の車より装備や質感が
落ちるのは嫌

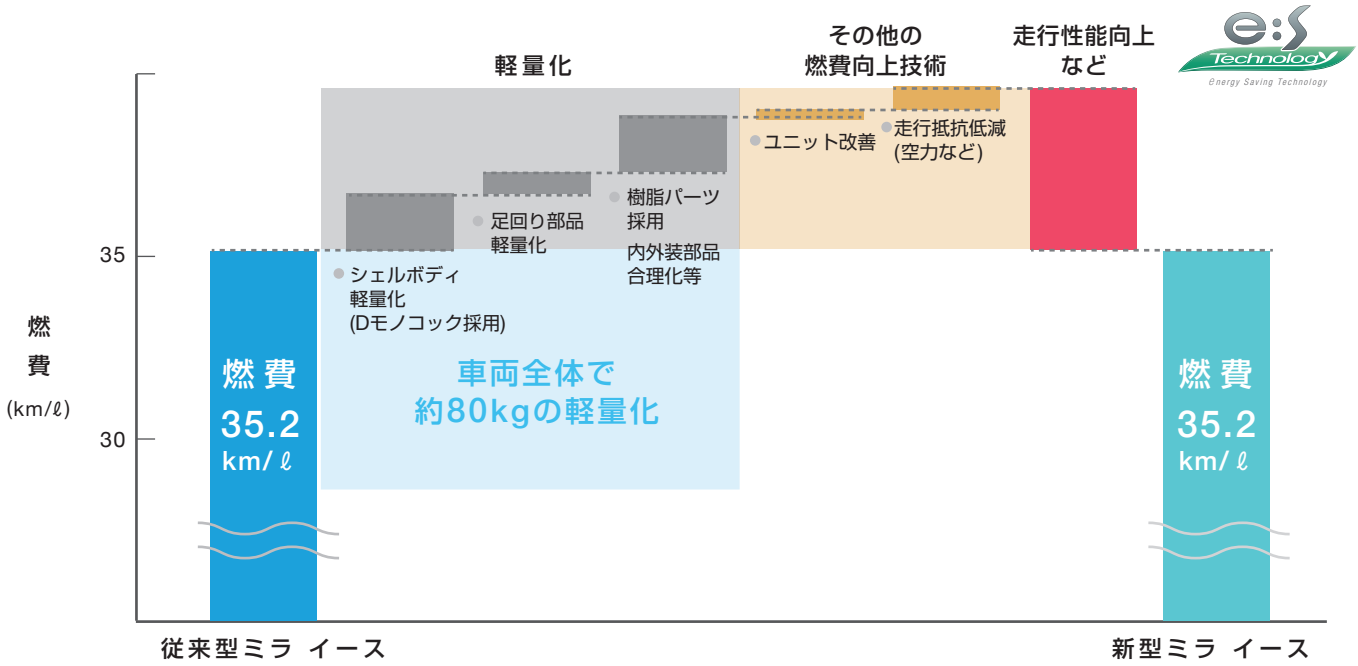
（子育て男性）

不満点は走り出しの力不足。
燃費は魅力的だがもう少し
走りについても高めてほしい

（子離れ男性）

軽量化等で得た燃費の原資を走行性能などへ充当
高いレベルでの低燃費を実現しながら、こだわりの安全・安心を提供

車両全体で約 80kg にもおよぶ軽量化や、ユニットの改善、走行抵抗低減などの技術により、燃費を向上。
一方で、燃費向上に対しては逆効果となる走行性能などを向上させたことで、
引き続き高いレベルでの低燃費を実現しながら、こだわりの安全・安心をご提供



※ダイハツ調べ

最もベーシックな軽自動車ミラ イースだからこそのお求めやすい価格

最もベーシックな軽であるミラ イースだからこそ、すべてのお客様がお求めやすい価格を実現することが重要。
入り口となるの B グレードでは 84.2 万円を実現するとともに、量販グレードの X グレードでも、衝突回避支援ブレーキ「スマートアシストⅢ」搭載グレードで、108 万円のお求めやすい価格に設定

グレード	駆動方式	メーカー希望小売価格（税込価格）
B	2WD	842,400
B “SAⅢ”		907,200
L		874,800
L “SAⅢ”		939,600
X “SAⅢ”		1,080,000
G “SAⅢ”		1,209,600
B	4WD	972,000
B “SAⅢ”		1,036,800
L		1,004,400
L “SAⅢ”		1,069,200
X “SAⅢ”		1,209,600
G “SAⅢ”		1,339,200

単位（円）

低燃費

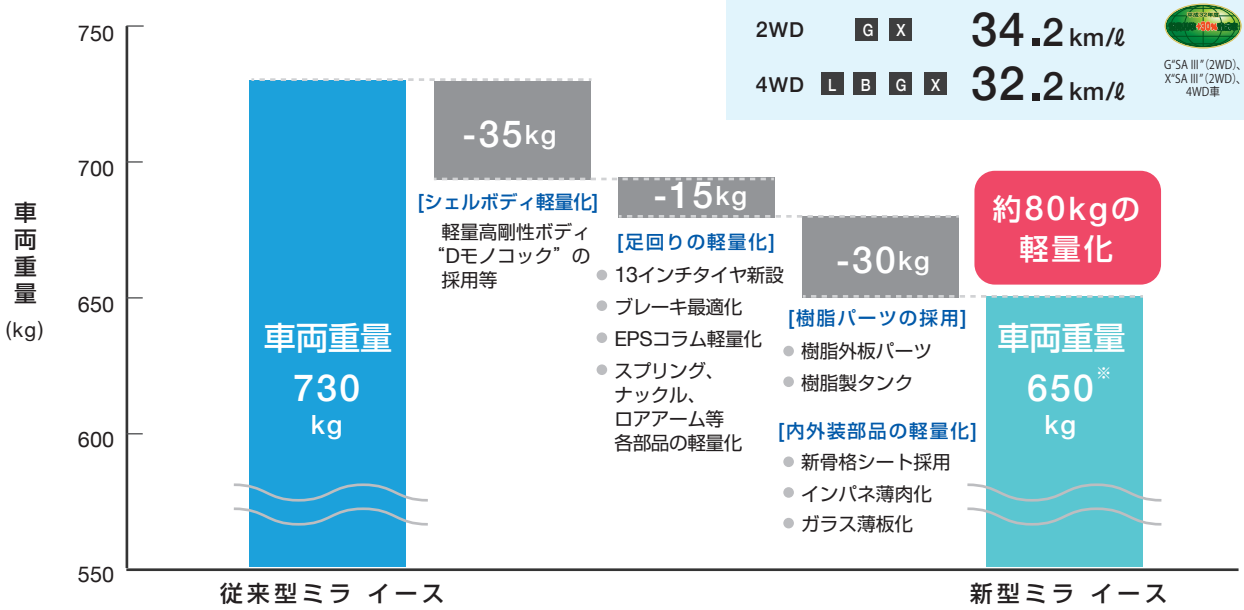
最大約80kgの軽量化や走行抵抗低減などにより、35.2km/ℓの低燃費を実現

シェルボディ、足回り、内外装部品など多岐に及ぶ改良で軽量化

JC08モード 走行燃費

2WD	L B	35.2 km/ℓ
2WD	G X	34.2 km/ℓ
4WD	L B G X	32.2 km/ℓ

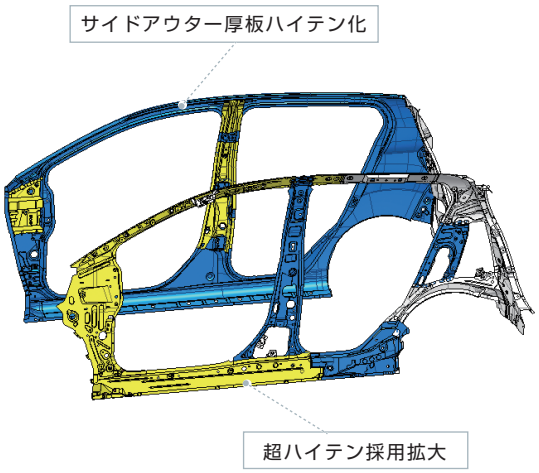
従来比最大約80kgの軽量化の主な内容



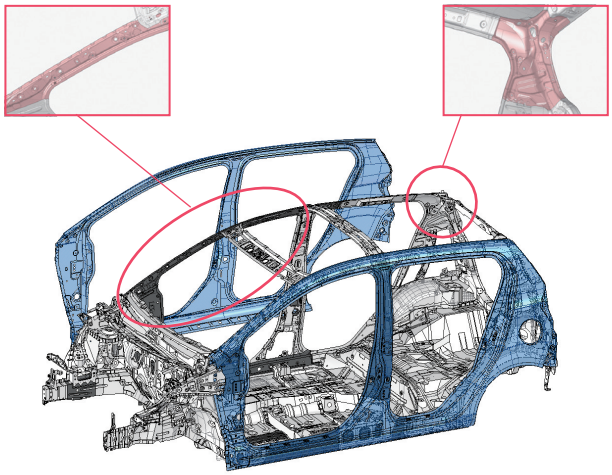
※L"SAⅢ"/L/B"SAⅢ"/B
※ダイハツ調べ

軽量化と高剛性を両立する 軽量高剛性ボディ"D モノコック"を採用

"D モノコック"（軽量高剛性ボディ）は、サイドアウターパネルの全面厚板ハイテン化を行い、構造断点をなくすことによりボディ全体で力を受け止める、ダイハツ独自のボディ構造であり、2014 年発売のムーヴから導入を開始しミラ イースでは初の採用となる。新型ミラ イースでは各部材の材料選定、補強材配置、また結合構造の合理化に取組むことにより、強度剛性の確保と軽量化を両立。部品点数削減や低燃費、低価格に寄与。



サイドアウターパネルを厚板ハイテン化し強度剛性部材として積極的に活用し、適切な補強部材配置を行うことで、部品点数削減と軽量化と衝突性能や剛性を両立



ボディ全体のつながりを重視し、部品同士の結合強化や一体化を実施。NV 性能や乗り心地の向上を図り、快適に運転できる性能を実現

全ての足回り部品の徹底的な軽量化

国内最軽量※13インチタイヤを新規開発

L/Bグレードに、13インチタイヤ、
13インチスチールホイールをそれぞれ新開発。
軽量化に寄与するとともに、転がり抵抗低減により、
走行抵抗低減にも貢献

※2017年5月 ダイハツ調べ

155/70R 13 75S

L

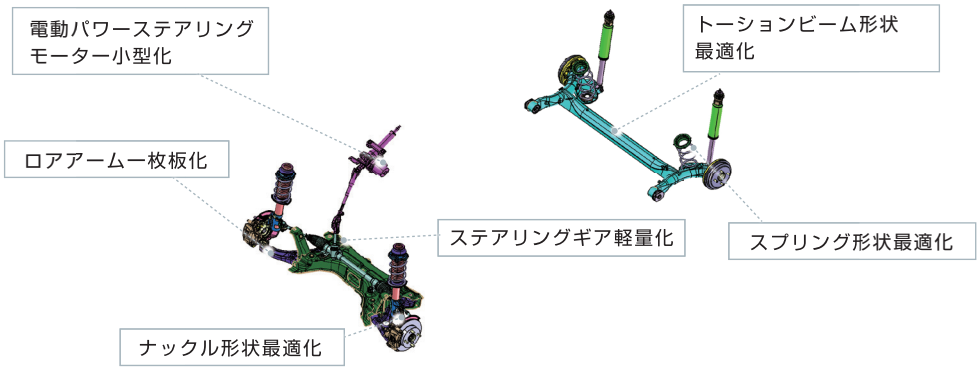
13インチスチールホイール
（フルホイールキャップ付）

B

13インチスチールホイール
（センターキャップ付）

足回り各部品の軽量化

車両の軽量化による、
路面からの入力減少に合わせ、
必要な性能を確保しながら、
足回り部品の形状を最適化。
足回り全体で約15kgの軽量化を
実現し、燃費、運動性能の向上に貢献



ダイハツ独自の樹脂パーツ

フロントフェンダー、バックドアなど、樹脂パーツの採用が軽量化に寄与。またバックドアを樹脂化したことで、
ルーフスポイラーの一体成型が可能となり、部品の追加設定なく空力性能向上を実現

樹脂部品使用部位

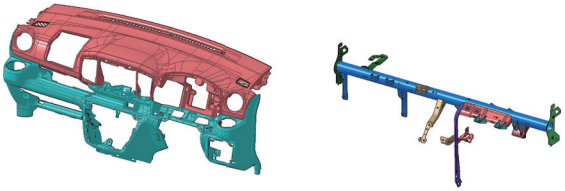
- フロントフェンダー
- フューエルリッド
- Cピラーガーニッシュ
- バックドア
- 燃料タンク※
- ラジエーターサポート

※2WD車のみ

内外装部品の合理化・薄肉化

インパネ軽量化

初代ミラ イースから採用している2色一体樹脂成形の
インストルメントパネル（インパネ）の板厚薄肉化を実施。
射出成形時の難易度向上に対し、
設計と生産技術との連携で約0.2～0.3mmの薄肉化を実現し、軽量化に寄与。
またインパネを支える支柱（PPメンバー）についても、パイプの薄肉化、
ステアリング支持構造の見直し等により軽量化を実現



新軽量骨格シート

構造合理化を織り込んだ新開発シート骨格。
各部品の小型化や配置、板厚、材質、
部品種類の見直しにより、軽量化に寄与

低燃費

最大約80kgの軽量化や走行抵抗低減などにより、35.2km/ℓの低燃費を実現

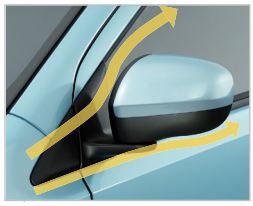
デザインに空力改善を最大限織込み、低コストで空気抵抗を大幅低減

空気の流れを考慮したボディ各部のデザイン、空力アイテムも形状工夫し効果最大化、空気抵抗を大幅に低減

■ 空力フィン（特許出願中）

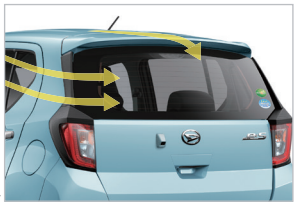
フードヒンジカバーを
フィン形状にして、
ドアミラーの空気抵抗を低減

■ ドアミラー形状の変更（オート / 電動格納式のみ）



整流効果の高い形状で風流れをスムーズ化

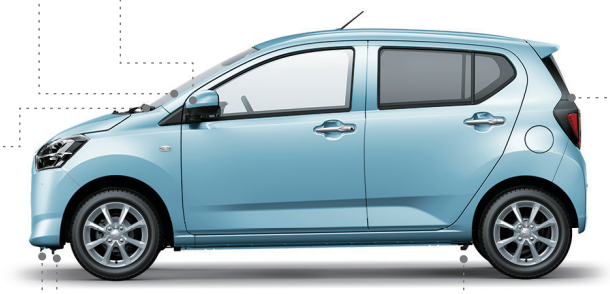
■ ルーフスポイラー & C ピラーガーニッシュ



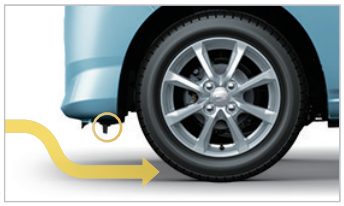
樹脂バックドアー体成型の
ルーフスポイラーとガーニシュで
後流を最適制御

■ フラットブレードワイパーの採用

ワイパーへの風当りを低減



■ タイヤディフレクターを採用

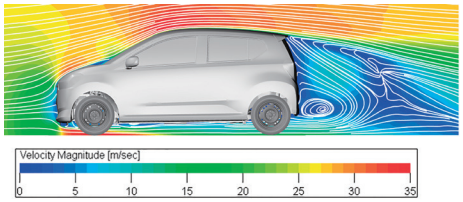


4 輪への風当りと巻き込み風を低減し、
空気抵抗と高速操縦安定性を向上

■ フロントアンダースポイラーの設定

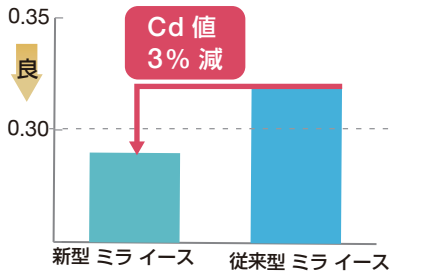
バンパー下端形状と合わせて最適化し、
フロア下に流れ込む風流れをコントロール

■ 空気抵抗約 3% 低減※



後流渦コントロール技術で
車両後方の渦を弱めて空気抵抗を低減

■ 空気抵抗（Cd 値）



※ダイハツ調べ

メカニカルロスの低減など進化したユニット

エンジンは従来の KF 型をベースに、オルタネーターへ回転を伝えるベルトを低フリクション化するなど、
メカニカルロスを低減し、エネルギー効率を改善。
また燃料噴射は従来のデュアルインジェクターを踏襲しながら、低コスト化を実現。
CVT についても、従来型をベースとしながら、CVT ケースの薄肉化を図り、軽量化に寄与

■ 日常シーンでの燃費へも配慮

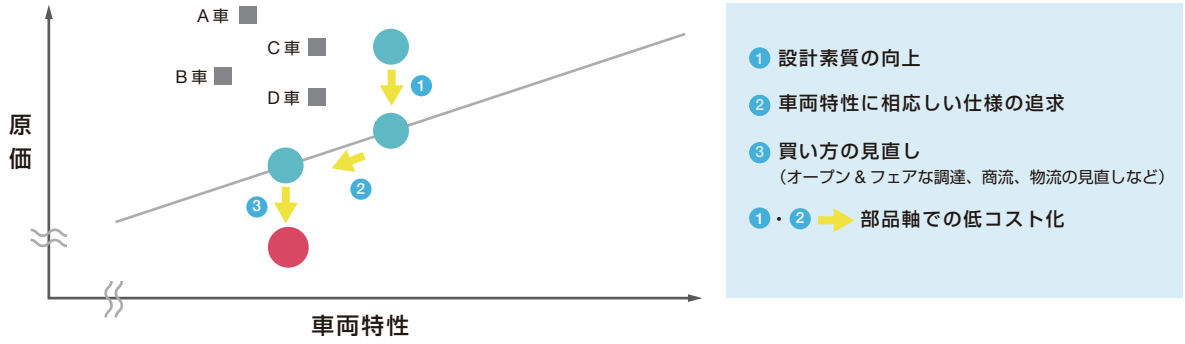
動力損失の少ないスクロール式エアコン コンプレッサーや、
省電力の LED ヘッドランプの採用などにより、日常の様々な使用シーンでの燃費にも配慮

低コスト化

徹底した低コスト化から実現した「良品廉価なクルマづくり」

ダイハツならではの部品・材料費の見直しによる低コスト化

「良品廉価なクルマづくり」を目指し、「構造は原理的に正しいか」、「材料のポテンシャルは充分に引き出せているか」、「デザインや作り方の工夫で、もっと低コストで造ることはできないのか」の観点から、設計素質を考慮したデザイン開発や生産要件を踏まえた部品設計など、機能の垣根を越えた低コスト化活動を実施。部材配置・形状・材料選定を徹底的に見直すことで、部品点数の削減や軽量化による原価低減を実現



あらかじめ、生産能力や販売企画台数と販売価格をベースに、クルマの原価にかけられる「予算」を設定し、予算内で収めることができるように開発を推進。積み上がった見積もりからコストを削減していくのではなく、企画当初から上限を設定し、その中で最高のクルマを目指すことで、「良品廉価」な商品を実現

樹脂製バックドアの改良･内製化により軽量化と低コスト化を両立

2013 年発売のタントから採用している、
ダイハツ独自の樹脂製バックドアを改良し採用。
構造の最適化による部品点数の削減、
樹脂製アウター / インナーパネルの薄板化や
補強材の小型化に取組み軽量化を実現。

さらに新型ミライースでは、インナーパネル成形と、
バックドア組付けの内製化に挑戦。
ダイハツ九州㈱大分 (中津) 第 2 工場内に、
樹脂製バックドア生産工場を建設し、
新型ミライースの生産に合わせ稼動を開始。
新工場は、ダイハツが軽の生産で培ってきたノウハウである
「シンプル・スリム・コンパクト (SSC)」を
織り込んだラインとなっており、
内製化による低コスト化と高品質を両立

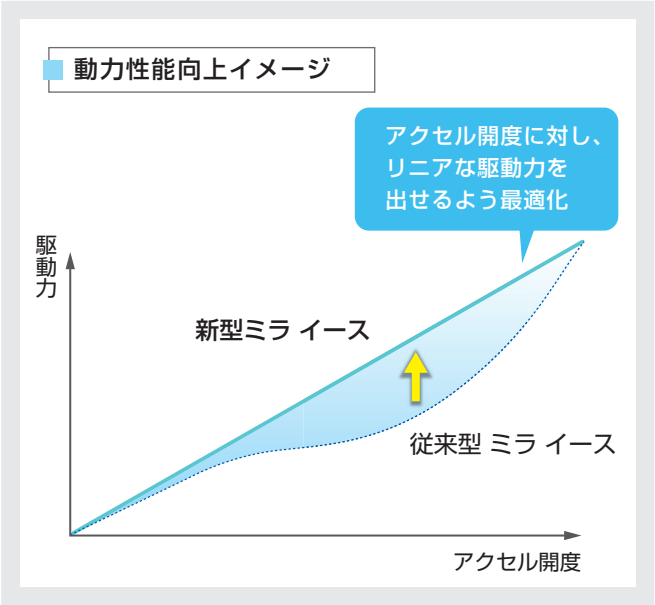
安心の基本性能

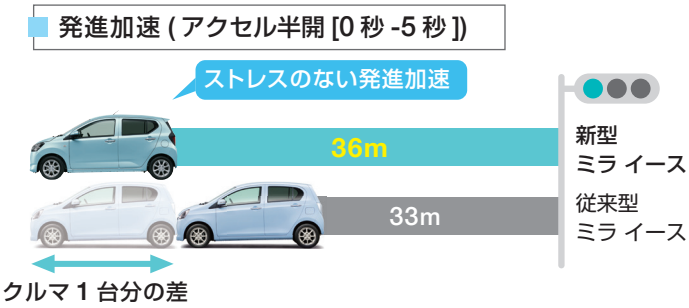
「走りの質」を追求し、基本性能を向上

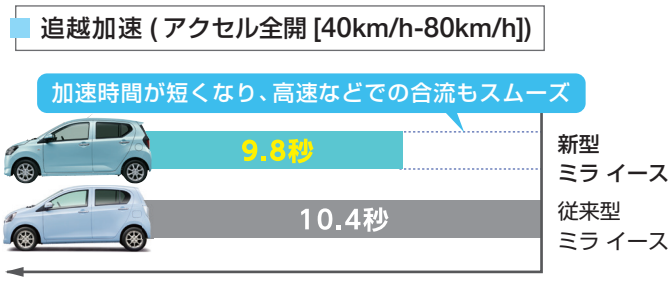
高い燃費性能を保ちながらも、走行性能を向上させることで、「走りの質」を上げ、ストレスのない快適で安心なドライブを実現

最適制御に進化させたユニット（KF-VE 型エンジン＋CVT）

アクセル操作に対するスロットル開度と変速線図を見直し、またキックダウン時の変速制御を最適化。
さらに、性能を向上した新世代 ECU を採用し、CVT の制御機能を EFI-ECU（エンジン制御コンピュータ）に統合。
エンジンと CVT の協調制御を高精度で最適化したことなどにより、アクセル操作に対し、リニアな加速を実現。
発進時や追越時などでストレスのない加速感をもたらすことで、「走りの質」を向上







※ダイハツ調べ

減孔ボディや吸遮音材の最適配置等によりノイズと振動を低減

ボディにある穴の削減や小径化を実施。ノイズの原因となる音の経路を遮断。
さらに吸遮音材の最適配置などによりノイズを低減

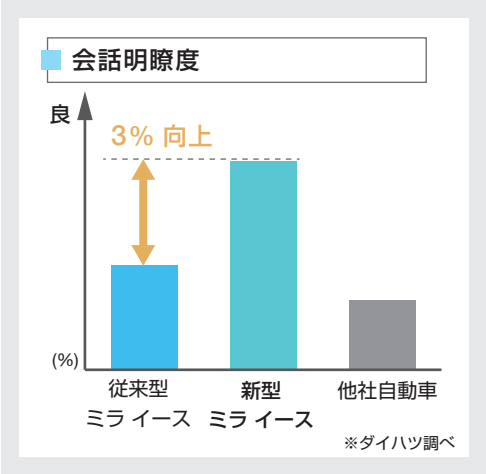
ロックアップ制御最適化
CVT のロックアップ制御を見直し、振動やこもり音を低減

フロントピラー
フロントピラーの内側に発泡材を使用し、ノイズを低減

減孔ボディ
ボディ穴の総面積を約 15%減らすことで、ノイズの原因となる音の経路を遮断

ステアリング
従来のダイナミックダンパーを廃止し、ホーンパッドにダンパーを設置することで、振動の抑制と部品点数削減を両立

吸遮音材
随所に吸遮音材を配置し、室内の静粛性能を向上



※ダイハツ調べ

上質でフラットな乗り心地を目指した足回りの最適化

通常使用される街乗りでの乗り心地と、高速走行時の操縦安定性を重視して開発。走り出した瞬間から快適な乗り心地や思い描いた通りのしなやかなドライビングを得るとともに、軽やかなステアリングフィールにより、取り回しのしやすい操舵感を実現。さらに高速走行時の安定性も向上。新開発の 13 インチタイヤを採用する L、B グレードはベーシックな足回りとして、14 インチタイヤを採用する上級の G、X グレードでは、より上質でフラットな乗り心地を実現するため、専用パーツの採用や、専用チューニングを実施

基本となる街乗りでの乗り心地はもちろん、中高速領域に入っても上質な乗り心地を提供するため、
軽自動車で初めて※超飽和バルブと専用ベースバルブの組合せを採用。
ショックアブソーバーも従来より大径のものを採用することで、減衰力の立ち上がり速度、減衰特性をコントロールし、よりフラットな乗り心地を実現。
さらにステアリングも電動パワーステアリングの制御最適化、ステアリングギアのフリクション低減などにより、ステアリングフィールを向上

サスペンション & ブッシュ

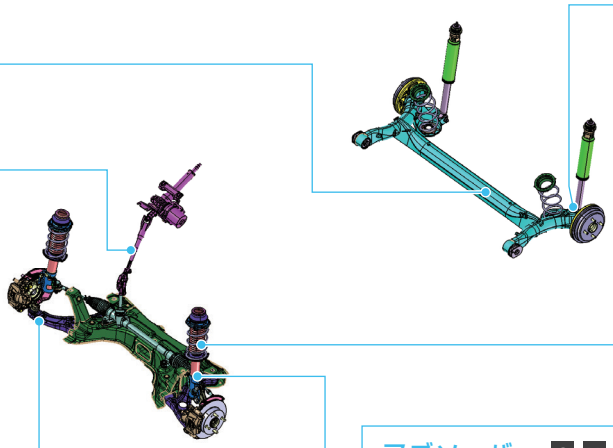
リヤサスペンションには熟成されたトーションビーム方式を採用し、車両に合わせブッシュ特性を最適化

ブッシュ G X

ロア側取付ブッシュを専用ブッシュに変更。受圧面積が増え、操縦安定性や乗り心地を向上

ステアリング

車両の軽量化により、操舵力を最適に保ちつつ、電動パワーステアリングモーター（EPS）の小型化を実現。足回りの設定、ステアリングギアのフリクション低減と EPS の制御チューニングにより、すっきり素直なハンドル操作を実現



スプリング & アブソーバー

バネ形状を最適化し、アブソーバーのスムーズなストロークを実現したことで乗り心地が向上

ロアアーム

ロアアームを一枚板化することで、高い性能を維持しながら低コスト化にも寄与

アブソーバー G X

- シリンダーを 1 サイズアップ (C25 <φ25mm>→C30 <φ30mm>) し、バルブの応答性を向上。アブソーバーの減衰力が素早く立ち上がることで、乗り心地が向上

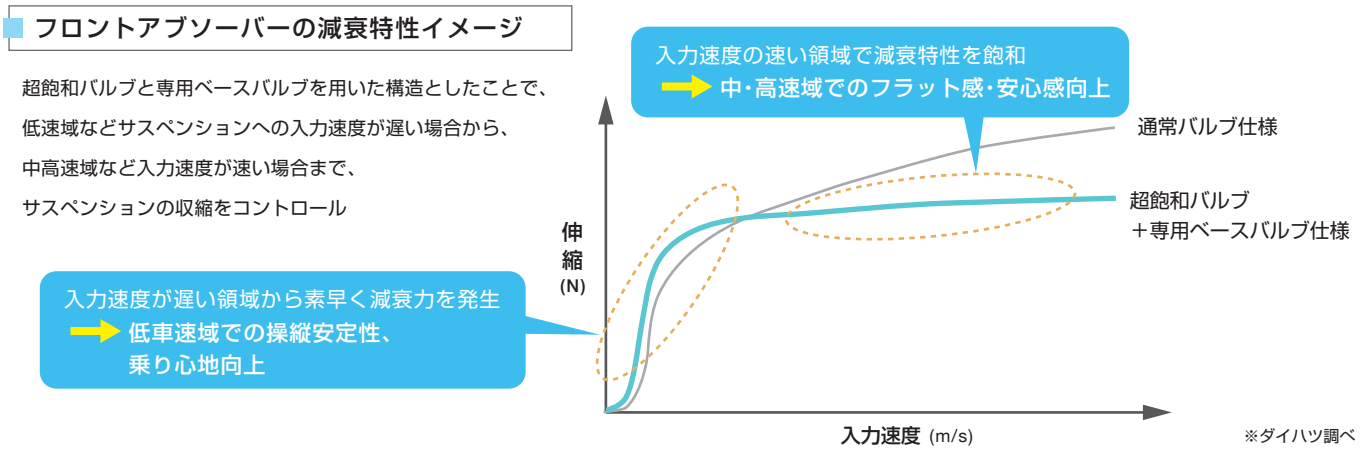
軽 初

- 超飽和バルブと専用のベースバルブの組合せを軽自動車で初めて※採用。アブソーバーのピストン速度に応じてサスペンションの収縮 (上下の揺れ) をコントロール。低速域から中高速域まで上質な乗り心地を実現

※2017 年 5 月 ダイハツ調べ

フロントアブソーバーの減衰特性イメージ

超飽和バルブと専用ベースバルブを用いた構造としたことで、
低速域などサスペンションへの入力速度が遅い場合から、
中高速域など入力速度が速い場合まで、
サスペンションの収縮をコントロール



※ダイハツ調べ

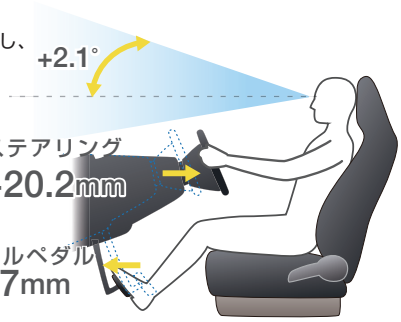
安心のパッケージ

誰もが運転しやすく、大人４人がしっかり乗れる、ジャストフィットなパッケージ

安心してストレスなくドライブできる運転席

体格に合った運転姿勢がとれるドライビングポジション

アクセルペダルや、ステアリングの位置を調整し、最適なドライビングポジションを実現

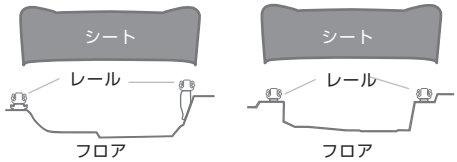


新ステアリングの開発

グリップ径を太くし、ホイールの握り部分には手触りのよい革シボを新設計。街乗りでの車速域では、軽く扱いやすいハンドル操作となるよう車速に応じてチューニング。上質な操舵感を実現

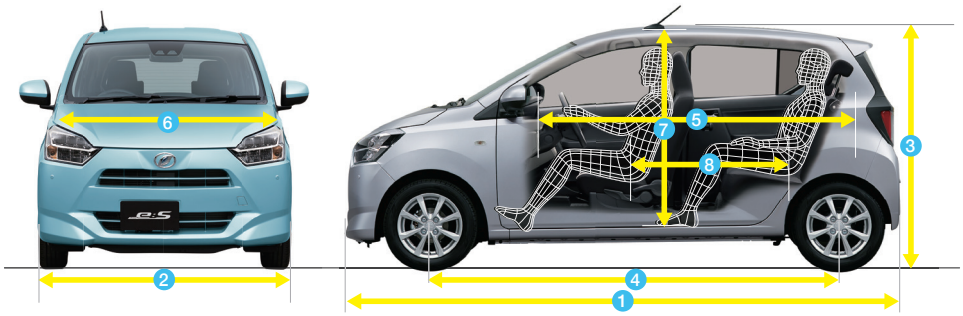
軽量骨格シートを新開発

座り心地やホールド性に優れた軽量骨格シート構造を新開発。異硬化ウレタン材を使用したシートバックと、各部材の小型化により、座り心地向上と、軽量化、低コスト化を実現。ヘッドレストはシートと一体化し、シートバックやシートクッション両側の土手の適度な盛り上がりなどと総合して、骨格や背中へのおさまり感と、ハンドル操作時のホールド性を実現



レール配置を最適化することで、
シートへの力の入力を効率的にフロアに伝え、
座り心地を向上

大人４人がしっかり乗れる広々パッケージ



		新型 ミラ イース	従来型車との差
1 全長	(mm)	3,395	±0
2 全幅	(mm)	1,475	±0
3 全高	(mm)	1,500	+10
4 ホイールベース	(mm)	2,455	±0
5 室内長	(mm)	2,025※1	+25
6 室内幅	(mm)	1,345	▲5
7 室内高	(mm)	1,240	±0
8 前後乗員間距離	(mm)	910	▲20
最小回転半径	(m)	4.4	±0

(2WD)

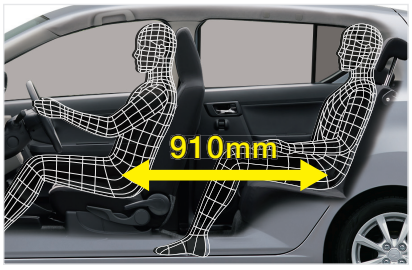
※1:L/Bグレードは1,935mm

後 席

エンジンを効率よく配置したレイアウトで、後席ひざ前クリアランスを確保

前後乗車員間距離

前後乗員間距離 910mm で、大人４人が座れるスペースを確保



頭上空間

新設計のフロントシートにより、頭上空間のゆとりと前方視界を拡大

安心して運転できる、軽自動車に相応しい安全装備

スマートアシストⅢ 採用[※1]により、歩行者対応の衝突回避支援ブレーキを実現

ミラ イースとしては初めて、衝突回避支援システム「スマートアシストⅢ」を搭載。
世界最小[※2]サイズの高性能なステレオカメラを採用したことで、車高が低く、
フロントガラス面積の狭いミラ イースへも搭載可能に。低価格に抑えながら、
歩行者対応衝突回避支援ブレーキやオートハイビームを追加するなど、高い安全性を実現

※1:SAⅢグレードに標準装備　※2:2017年5月 ダイハツ調べ

スマアシⅢ 衝突回避支援システム

従来型車（スマートアシスト搭載）からの主な変更ポイント

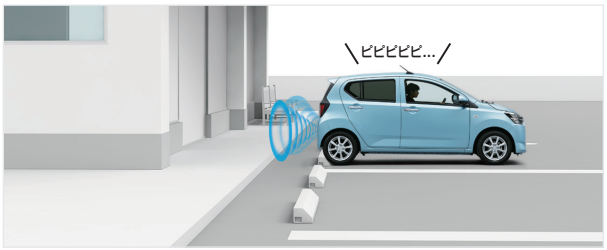
- 衝突警報機能、衝突回避支援ブレーキ機能が「歩行者」にも対応
- 被害軽減ブレーキアシストの追加
- 車線逸脱警報機能の追加
- 後方誤発進抑制制御機能の追加
- 「オートハイビーム」の追加
- 「作動車速域」の拡大

：従来型車からの変更

センサー方式				ステレオカメラ&ソナーセンサー
衝突警報機能		対車両		約4～100km/h（速度差 約4～100km/h）
		対歩行者		約4～50km/h（速度差 約4～50km/h）
衝突回避支援ブレーキ機能	被害軽減ブレーキアシスト	対車両		約30～80km/h（速度差 約30～80km/h）
		対歩行者		約30～50km/h（速度差 約30～50km/h）
	緊急ブレーキ	被害軽減	対車両	約4～80km/h（速度差 約30～80km/h）
			対歩行者	約4～50km/h（速度差 約30～50km/h）
		衝突回避	対車両	約4～80km/h（速度差 約4～30km/h）
			対歩行者	約4～50km/h（速度差 約4～30km/h）
車線逸脱警報機能				約60km/h～
誤発進抑制制御機能			前方	～約10km/h
			後方	～約10km/h
先行車発進お知らせ機能				あり
オートハイビーム				約25km/h～

■ 衝突警報機能（対車両・対歩行者）/ 衝突回避支援ブレーキ機能（対車両・対歩行者）

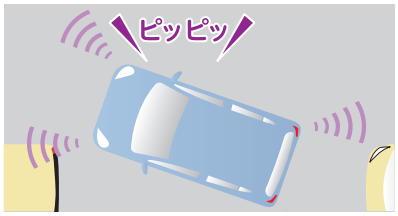
■ 後方の急発進を抑制



コーナーセンサー（フロント２個 / リヤ２個、接近のお知らせ表示付）を標準装備[※1]

軽自動車で初めて[※2]、フロント２個、リヤ２個のコーナーセンサーを標準装備。障害物へ接近すると、
距離に応じてメーター内表示とブザー音でお知らせ。リヤは、スマートアシストⅢの後方誤発進
抑制制御機能で使用するソナーセンサーを利用することでコストを抑制。
コーナーセンサー用の短距離タイプの音波と、スマートアシスト用の中距離タイプの
音波を交互に出すことで、１つのセンサーで２つの役割を兼備

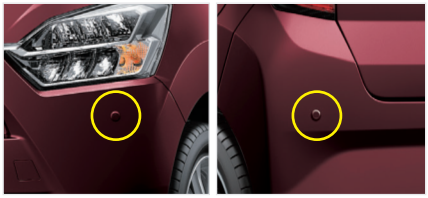
※1：SA Ⅲグレードに標準装備　※2：2017年:5月 ダイハツ調べ



※後方誤発進抑制制御機能とは作動対象が異なります。

■ 縦列駐車出庫時 作動イメージ

■ コーナーセンサー配置



■ メーター内表示

デザイン

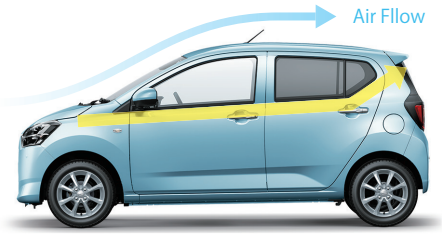
新時代に合う「力強さ」と「先進性」を表現したデザイン

「シンプルで無駄のない形」を進化させた「軽 2BOX の本質」を追求
シャープでコントラストが強い立体造形で新時代に合う「力強いデザイン」と「先進感」を表現

エクステリア　高い質感と安心感を表現

知的で凛とした佇まいのサイドスタイル

空力に配慮したピラーの傾きと特徴的なサイドウィンドゥで「視界の良さ」を実現



水平基調のベルトラインと立体的なドア断面を前後に通し、大きく伸びやかな「知的で凛とした佇まい」を表現

“安全･安心” を感じさせるフロントフェイス

ノーズを長く見せ、ドアから連続する立体的で存在感のあるバンパー造形で「安全・安心感」を表現

フロントからサイドへ回り込むエアロスカート風のワイドなバンパーで「低重心でワイドなスタイル」を表現

低重心でワイドなリヤスタイル

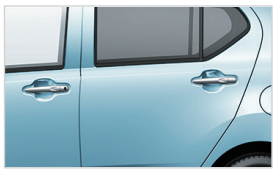
バックドアガラス両サイドの黒色ガーニッシュで空力性能を向上しつつ「ワイド感」を表現

バンパーコーナーのラインと下端造形で「安定感」を表現

新 車名エンブレム

ボディに合わせたシャープでスタイリッシュなデザインで、先進的な印象を付加

緻密な設計と高い製造技術で実現した仕立ての良さ



フードとフェンダーの段差低減やサイドのキャラクターラインの一直線の通し方など緻密な調整を行い、全体的に上質感を表現

※写真はすべてG“SAⅢ”

インテリア　低コスト、軽量化と運転のしやすさを兼ね揃えた上質空間

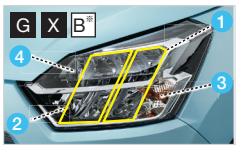
左右に広がる水平基調のインストルメントパネルが特徴。
スッキリとした造形により圧迫感のない、
シンプルで無駄のない空間。
黒を基調としたデザインで、シックでモダンな雰囲気を醸成

黒とライトグレーのハイコントラスト配置で、
モダンなシート仕立て。
手触りがよく、立体的な柄をあしらった、
メイン生地を採用することで高級感・上質感を演出

ヘッドランプ

新開発の LED ヘッドランプ採用できりっとした目力のあるシャープな印象のデザインを実現

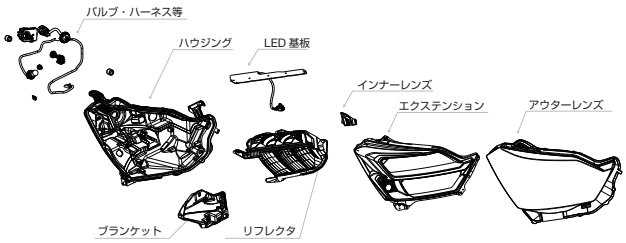
LED ヘッドランプ
（ロー / ハイビーム・マニュアルレベリング機能・LED クリアランスランプ付）



1 ハイビーム　2 ロービーム
3 ターンランプ　4 クリアランスランプ

※B“SAⅢ”はメーカーオプションの
ビジネスユースフルパック選択時装着

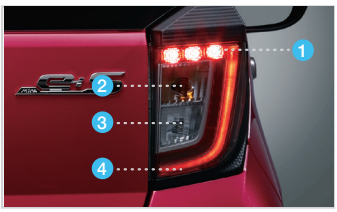
マルチリフレクターハロゲンヘッドランプ
（マニュアルレベリング機能付）



発光には LED を使用し、省電力化を実施。ロービーム用の LED4 灯とハイビーム用の LED2 灯に加え、
ドライバー回路の素子すべてを 1 枚の基盤にまとめ、
裏表両面に配置することで、部品点数を削減し、低コスト化。
さらに反射板により、点灯時の輝きを増し、デザイン性を向上

リヤコンビネーションランプ (LED ストップランプ)

ライン状に光る LED（4 個）がシャープで先進的な印象のデザインを実現



ランプ周囲にカーボン調の加飾を合わせることで、リヤランプからバックドアウインドゥまでの
つながりを美しく見せ、上級感・上質感を演出

1 テール&ストップランプ
2 ターンランプ
3 バックランプ
4 リヤリフレクター

カラーバリエーション

新型ミラ イースの造形に合わせたカラーバリエーションに刷新。
コントラストが強い立体造形を際立たせるためのカラーを新たに開発。
メタリック調のカラーにこだわり、楽しくイキイキとした暮らしにぴったりな個性的なカラーバリエーション

スカイブルーメタリック〈B83〉

ブラックマイカ
メタリック〈X07〉

※ プラムブラウン
クリスタルマイカ〈R59〉

マゼンタベリー
マイカメタリック〈R72〉

レモンスカッシュ
クリスタルメタリック〈Y13〉

スプラッシュブルー
メタリック〈B80〉

ホワイト〈W19〉

※ パールホワイトⅢ〈W24〉

ブライトシルバー
メタリック〈S28〉

※メーカーオプション

タイヤホイール

軽量化を実現しながら、力強さ、シャープさ、緻密さを表現したホイール

G	X	L	B
14 インチアルミホイール	14 インチフルホイールキャップ	13 インチフルホイールキャップ	13 インチスチールホイール（センターキャップ付）
軽量化を実現しながら、彫りを深くし、力強さを表現	シャープで豪華なあしらい ホイールキャップ 新意匠	シンプルさの中に緻密さを表現 ホイールキャップ 新意匠	国内最軽量を実現
155/65R 14 75S		155/70R 13 75S	

人の暮らしを考えた 日常にジャストフィットする快適装備

自発光式デジタルメーター

全車に白色 LED を採用し、視認性を向上

発光エリアを拡大したエコドライブアシスト照明で、エコドライブを直感的に認識できるようサポート

ブルーイルミネーションメーター（メッキベゼル付）&TFT マルチインフォメーションディスプレイ G X B ※1

※1: B "SAⅢ" はメーカーオプションの ビジネスユースフルバックを 選択すると装着

アンバーイルミネーションメーター & マルチインフォメーションディスプレイ ※2 L B

※2: L / B のマルチインフォメーションディスプレイは、L" SAⅢ" /B "SAⅢ" よりも小さい設定

TFT マルチインフォメーションディスプレイ

メンテナンス情報や燃費スコアを表示する「TFT マルチインフォメーションディスプレイ」を採用

半ドア警告

燃費スコア

メンテナンスのお知らせ

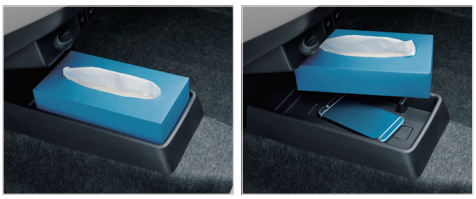
キーフリー電池残量警告

アイドルストップ積算

視認性の高いフォントや文字の大きさを追求。コントラストを高めるなどの工夫により、視認性を向上

手の届く位置にポケッテリアを充実させ、使い勝手の良さを向上

1 インパネロングアッパートレイ（助手席）



2 センターフロアトレイ

センターフロアトレイにツメをつけることで、ティッシュボックスの下に空間ができる設計。携帯電話などの収納可能

3 掘込み式インパネドリンクホルダー（運転席 / 助手席）

4 グローブボックス

5 ドアポケット（フロント）

6 ドアポケット & ボトルホルダー（リヤ）

7 チケットホルダー（運転席）※

8 ショッピングフック（インパネ）

※G/X グレードはバニティミラー（運転席 / 助手席）付

開け閉めしやすいバックドア

スイッチ式バックドアオープナー 軽初

樹脂製のバックドアの採用により、軽量化を実現。
また軽初※となる電気スイッチ式のオープナーを採用。
ドアハンドル付で開け閉めしやすい構造
※2017 年 5 月 ダイハツ調べ

その他の快適装備

オートライト G

明るさに応じてヘッドランプを自動的に点灯・消灯。
トンネルが連続するような道路でも、ON/OFF 操作が不要

全ドア車速感応式オートロック機能付 パワードアロック G

車速に応じて自動ですべてのドアをロック。
ドアロック忘れを防ぎ、走行中も安心

シートヒーター G

シート座面と背面を素早く暖め、
寒い日にも快適に移動が可能

プッシュボタンスタート & キーフリーシステム G

カバンやポケットなどに電子カードキーを入れたまま、
ドアの施錠・開錠ができ、プッシュボタンでエンジンが始動。
盗難防止用イモビライザー付

ビジネス用途にジャストフィットする便利な装備

ビジネス用途向けに、B グレードを新設定。専用のビジネスデッキボードの標準装備により、後席を倒した場合に発生する段差をなくし、フラットで剛性の高い荷室を実現。その他にも様々なビジネスシーンに対応した便利なアイテムを用意

ビジネスデッキボード B ※G/X/L グレードにはディーラーオプションで設定可能 ※1 か所にかかる耐荷重は最大 40kg

重量物を積載する機会は少ないものの、積み下ろしは頻繁に行うというビジネス用途に対応し、
積み下ろしに便利なフラットな床面となる専用デッキボードを採用

フラット	荷室から後席背面まで広くフラットな床面を実現
高剛性	硬質ボードによってシート背面の剛性をアップ
耐水性	ビニール表皮でお手入れが簡単

ビジネスシーンに便利なアイテム B

ドアの開け閉めに便利なキーレスエントリーや、
パワーウインドゥ (フロント) なども標準装備し、
様々なビジネスシーンに対応するアイテムで快適性を向上

ビジネスユースフルパック B

ビジネス用途として要望の多い機能や、安心してご使用
いただくための 5 つの機能セットをメーカーオプションでご用意

- 電動格納式ドアミラー
- スモークドガラス（UV カット機能付）
- LED ヘッドランプ
- ブルーイルミネーションメーター（メッキベゼル付）& TFT マルチインフォメーションディスプレイ
- 車速感応式間欠フロントワイパー

アクセサリー

お客様の使用シーンに合わせた「良品廉価」なアイテムを豊富にご用意

New 従来モデルには設定がなく、新型モデルより新設したアイテム　　お得なパック設定あり

外装・内装アクセサリーでカスタムテイストを演出

7 マッドガード(リヤ)
8 アルミホイールセット (14インチ・12本スポーク・ブラックポリッシュタイプ)

エアロパック
1 フロントロアスカート
2 サイドストーンガード

メッキパック
3 フードガーニッシュ(メッキ) New
4 バックドアガーニッシュ(メッキ)

5 ドアミラーガーニッシュ (メッキ) New
6 LED フォグランプキット New

安全・安心目線でのカーナビ選び

ワイドスタンダードメモリーナビ

高速道路のサービスエリア・パーキングエリアでの
逆走注意喚起機能を搭載。音声と画面表示でお知らせ

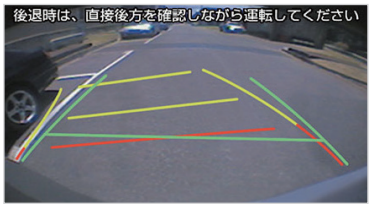
現在自動車専用道路を走行しています。逆走にご注意ください。

ナビに連動し、録画/再生
可能な、ドラレコとの
お得なセットプランも設定

ステアリング連動ガイド線表示キット New

バック時のステアリング操作に連動し、進む方向をガイド線で表示

ステアリング連動ガイド線キット有りのモニター画面

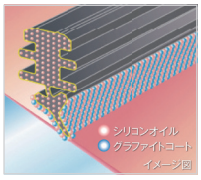


予測進路がわかるので、
駐車時のバックが
苦手な方への安心オプション

※別途、対応の純正ナビ / オーディオが必要。
※メーカーオプション
「純正ナビ装着用アップグレードパック」のバックカメラにのみ対応

雨の日の運転をもっと安全に

ウインドウ撥水コーティングセット New



スマアシ III

1 優れた撥水性能で雨天時もクリアな視界を確保
2 ガラス面としっかり結合し、約 12 ヶ月の長寿命を実現
3 専用撥水ワイパーラバーでビビリを抑えスムーズな動きを実現
4 油膜の付着を防止し、寒冷期の霜や氷の付着を低減
5 スマアシⅢ装着車への施工で、雨天時におけるステレオカメラの視認性向上に寄与
※専用撥水ワイパーラバーのみの交換では、撥水効果は得られません

ビジネス用途にジャストフィット

マップランプ (LED) New

ラゲージルームランプ (LED) New

ミラ イース主要諸元表

エコカー減税（環境対応車普及促進税制）適合車

駆動方式			2WD				4WD			
グレード			G“SA Ⅲ”	X“SA Ⅲ”	L “SA Ⅲ”	B “SA Ⅲ”	G“SA Ⅲ”	X“SA Ⅲ”	L “SA Ⅲ”	B “SA Ⅲ”
車名・型式			ダイハツDBA-LA350S				ダイハツDBA-LA360S			
車種記号	CVTインパネセンターシフト		★＃GBPF	★＃GBGF	★＃GBMF	★＃GBRF	★＃GBPF	★＃GBGF	★＃GBMF	★＃GBRF
寸法・重量	全長	mm	3,395							
	全幅	mm	1,475							
	全高	mm	1,500				1,510			
	室内 長	mm	2,025		1,935		2,025		1,935	
	幅	mm	1,345							
	高	mm	1,240							
	ホイールベース	mm	2,455							
	トレッド 前	mm	1,305				1,300			
	後	mm	1,295				1,265			
	最低地上高	mm	155				160			
	車両重量	kg	670		650		740		720	
	乗車定員	名	4							
性能	燃料消費率 JC08モード 走行燃費（国土交通省審査値）	km/L	34.2		35.2		32.2			
	主要燃費向上対策		自動無段変速機：CVT ロックアップ機構付トルコン 可変バルブタイミング オルタネータ回生制御 アイドリングストップ装置							
	最小回転半径	m	4.4							
エンジン	型式		KF型							
	種類		水冷直列3気筒12バルブDOHC横置							
	総排気量	cc	658							
	内径×行程	mm	63.0×70.4							
	圧縮比		12.2							
	最高出力（ネット）	kW[PS]/rpm	36[49]/6,800							
	最大トルク（ネット）	N·m[kg·m]/rpm	57[5.8]/5,200							
	燃料供給装置		EFI（電子制御式燃料噴射装置）							
	使用燃料およびタンク容量	L	無鉛レギュラーガソリン・28				無鉛レギュラーガソリン・30			
トランスミッション	駆動方式		FF（前2輪駆動）				フルタイム4WD（4輪駆動）			
	クラッチ形式		3要素1段2相形（ロックアップ機構付）							
	変速比 前進		3.327～0.628							
	後退		2.230							
	最終減速比		4.272							
ステアリング形式			ラック&ピニオン							
ブレーキ形式	前		ディスク							
	後		リーディング・トレーリング							
駐車ブレーキ			機械式後2輪制動							
サスペンション形式	前		マクファーソン・ストラット式コイルスプリング							
	後		トーションビーム式コイルスプリング				3リンク式コイルスプリング			
タイヤ	前後		155/65R14 75S		155/70R13 75S		155/65R14 75S		155/70R13 75S	

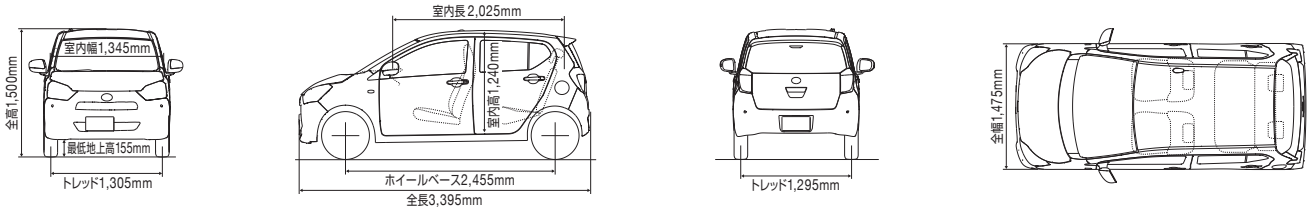
エコカー減税（環境対応車普及促進税制）の適合車は、ご購入時に自動車取得税及び自動車重量税の軽減措置が受けられます。詳しくは販売会社におたずねください。（自動車取得税は平成31年3月31日まで。自動車重量税は平成31年4月30日まで。）

★「グリーン税制（グリーン化特例）」に適合。ご購入の翌年度の軽自動車税についてグリーン税制（グリーン化特例）による軽減措置が受けられます。（平成31年3月31日までの新車新規届出車を対象。）

＃「グリーン購入法※特定調達物品等の判断基準」および政府公用車の基準に適合しています。詳しくは販売会社におたずねください。※「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」

■［ ］内は従来の表示で参考値です。■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。■“DVVT”、“キーフリーシステム”、“eco IDLE”、“スマートアシスト”はダイハツ工業株式会社の登録商標です。■“EFI”、“VSC”、“TRC”はトヨタ自動車株式会社の登録商標です。（使用許諾済）■道路運送車両法による自動車型式指定申請書数値 ■製造事業者:ダイハツ工業株式会社

ミラ イース寸法図　車種: G“SA Ⅲ”（2WD）



ダイハツ工業株式会社

URL:https://daihatsu.co.jp

2017年5月発行